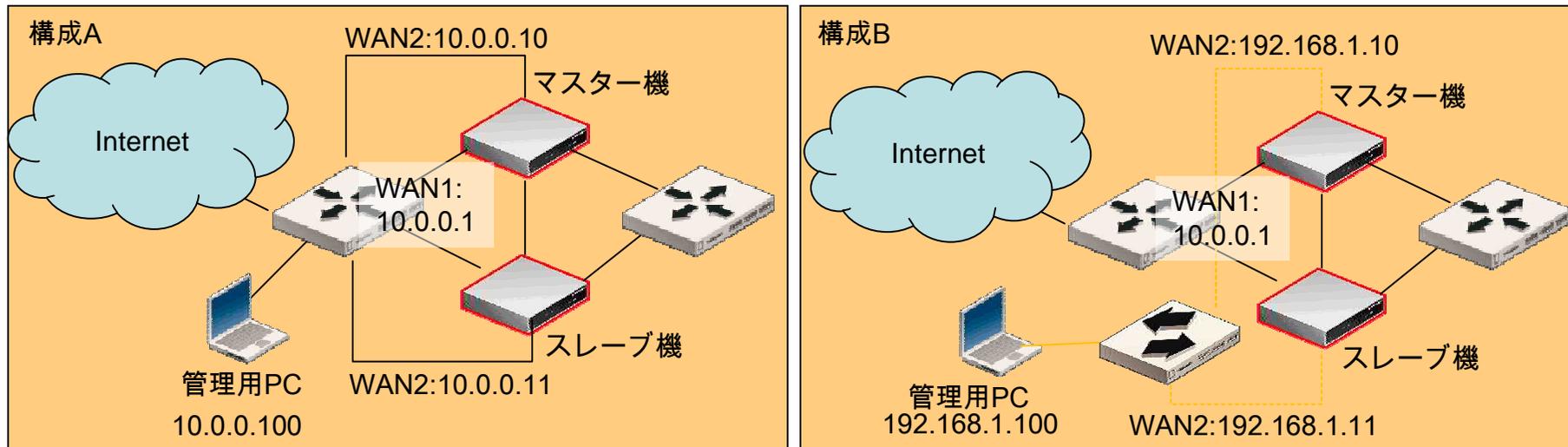


新機能: v4.2でHA reserved management interface機能(以下管理ポート)が実装されました。

FortiGateのHA構成時においてこれまで行えなかったスレーブ機への直接Pingやログインが可能となります。

1. 管理用のインターフェイスにIPアドレスをアサインすることで、スレーブ機へのPingが可能
2. HTTP/HTTPS等のプロトコルを利用してスレーブ機へ直接ログインが可能
3. SNMPトラップ/クエリにも対応

* 管理ポートをWAN1と同一セグメント(構成A)、または分ける事(構成B)が可能



設定方法：

1. CLIより、Reserve Management Port for Cluster Member機能を有効にして、管理Portを指定します。

*管理ポートは、VLAN(.1q)仮想インタフェースでも利用する事が出来ます。

```
config system ha
  set ha-mgmt-status enable
  set ha-mgmt-interface <管理用のインタフェース>
  set ha-mgmt-interface-gateway <管理用インタフェースのゲートウェイIP>
end
```

2. CLIより、上記設定で指定したインタフェースにIPを設定します。(Active-Standby両機)

```
config system interface
  edit <インタフェース名>
    set ip <IPアドレス>
    set allowaccess <許可プロトコル>
  end
```

3. 管理IPでSNMPを利用する場合はCLIより設定変更を行います。

```
config system snmp community
  edit 1
    config hosts
      edit 1
        set ha-direct enable
        set ip <SNMPマネージャIP>
      end
    end
end
```

注意点

【利用出来る機能の制限】

管理ポートはページ1に記載されている機能のみ提供しています。

そのため、NTPサーバとの同期、シグネチャのアップデート、syslogの送信等といったその他機能は、通信用ポートから実施されます。

【ルーティング】

管理ポートは通信処理から独立したルーティングテーブルを参照します。

管理ポートの固定ルートは1つのみ設定できます。 *[ページ2](#)、[設定方法を参照](#)